

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)タツタEMセンター建設工事	階数	地上2F
建設地	京都府木津川市州見台6-5-1、5-2	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	30人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	7,200時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2012年4月10日
敷地面積	44,911 m ²	作成者	小坪忠彦
建築面積	4,353 m ²	確認日	
延床面積	5,859 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: N.A.
③上記+②以外の: #VALU
④上記+: #VALU

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	施設としては従業員が快適・安全に作業できるよう配慮し、敷地として周辺環境に配慮した計画を行なう。	その他 0
Q1 室内環境	工場施設として、従業員の快適な作業空間を確保する。	Q3 室外環境(敷地内) 従業員の安らぎの確保、及び周辺地域に対しても良い環境を確保するような計画を行なう。
LR1 エネルギー	省エネルギーに配慮した計画を行なう。	LR3 敷地外環境 地域の環境の改善に役立つ計画を行なう。
Q2 サービス性能	建物の維持管理のしやすい計画を行なう。	
LR2 資源・マテリアル	資源を極力消費しない計画を行なう。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される